

横山 茂和さん（埼玉県越谷市出身）

横山 徳子さん（出雲市出身）

巳年（ご主人） 羊年（奥様）

「横山食品」 代表

ご主人；越谷市生まれ

奥 様；出雲市佐田町生まれ

14年前、奥様の故郷の佐田町へ帰り、義父が営む「横山豆富店」を継承、昨年『須佐屋』を開店

「害獣」でもあり「山に宿る生命」である鹿、猪の肉を活用する『ジビエプロジェクト』を展開中



都会から帰って来た当初、出雲は交通の便が悪く、周辺地域から商品（含 原料）の流入がないことから出雲だけで商売ができましたが、交通事情がよくなり周辺地域から安価な商品が入ってくるようになって、豆富店の営業も厳しくなりました

『豆富』は絶対必要なものではないけれどなくならないもので、豆富は、その土地の水を使って作るものです

そのため、豆富を食べればその土地の水の味を知ることができ、水に慣れることもできます

出雲は空気にはおいがないことや遠くの山がはっきり見える、また、雲の流れが速い（天気の変化が速い）と感じました

『出雲』とは「雲が生まれるところ」で、すなわち雲が出れば雨が降り、水溜りができて空気がきれいになるのでは？

須佐はこのような自然の中に神社があり、神社のお祭りには、仕事を休んで参加されるということが残っている地域です

しかし、少子高齢化が進みつつも歯止めを掛けるべき、もっとたくさんの方々に祭りの中に参加していただきたいと思います

須佐屋を開店するに至ったのは、ここの近隣には散策する場所はあるものの、休憩するところ、食事を摂るところがありませんでした

そこでたまたまジビエプロジェクトをきっかけに開店することとしました  
都会から出雲に来たときは生活時間の違いを感じましたが、自然が豊富であったことから、大人も子どもも自然を相手にいろいろな体験ができるため、とても有意義に暮らすことができます

取材を終えて・・・

都会から奥様の故郷へ ターンされたご主人

古くから神社とともに生活してきた人々の暮らしのなかに自然に溶け込まれ、お店の中では地域の暮らしに触れさせていただきました

お店では地元食材を材料にした料理や加工品、手作りの民芸品を販売していらっしやいます

好きな言葉は・・・

『 感謝 我達人

横山 茂和 』

『 中 今を生きる

横山 徳子 』